



のぼりべつ 社協 だより

noboribetsu shakyo

特集 きずなで広げる ともに生きる地域の輪

コミュニティセンター新寿の家(イオン登別店内)で開催されている「寿サロン」では、毎週水曜日にお菓子や食事を持ち寄ってお話を楽しんでいます。現在、市内に35カ所のサロンがありますので、お近くのサロンに参加して地域での交流を深めませんか？

CONTENTS

- P2 特集 きずなで広げる ともに生きる地域の輪
- P3 赤い羽根共同募金
- P4 きずな推進委員が改選されました
第1回サロンサポーター連絡会を開催しました
社協寄付金・寄付物品



2025
09.01 No.169

【発行】 社会福祉法人 登別市社会福祉協議会
【事務局】 登別市片倉町6丁目9番地1 登別市総合福祉センターしんた21内
【TEL】 0143-88-0860
【FAX】 0143-88-4546
【mail】 info@kizuna-shakyo.jp
【HP】 https://kizuna-shakyo.jp
【Facebook】 https://www.facebook.com/kizunashakyo/



この社協だよりの発行は、赤い羽根共同募金の支援を受けています

特集

きずなで広げるとともに生きる地域の輪

登別市社協では第4期登別市地域福祉実践計画（きずな計画）に基づき、住民主体による福祉のまちづくりを通じて、各種事業を推進しています。

第4期きずな計画では、支える側・支えられる側の関係に依らず、地域住民など多様な主体が世代や分野を超え暮らしと生きがい、地域をともにつくる「共生共存のまち」の実現をめざしています。

障がいの有無、性別、年齢などに関係なく、すべての人が互いの人権や尊厳を尊重し、支え合いながら、誰もが生き生きとした人生を送るため、登別市社協では幅広い事業を通じて、福祉関係団体や障がい者団体と協働し、さまざまな活動を実施しています。

今回の特集では、障がい当事者が地域住民と一緒に取り組む活動をご紹介します。

■ふれあいフェスティバル

すべての市民が地域社会の一員として、安心して暮らせる社会の実現をめざし、開催しています。

今年度も、昨年に引き続き「のぼりべつ夏祭り」との合同開催とし、7月26日・27日の2日間に行われて実施しました。あいにくの天気でしたが、多くの市民の皆さまにご来場いただき、昨年度協力団体を中心とした延べ100名を超えるボランティアとともに地域のにぎわいと交流の場をつくりました。

イベント内の企画として実施した「ふれあい交流」



では、障がいの有無や年齢に関係なく、誰もが一緒に楽しめることを目的に、ポッチャブースを設置しました。多くの方に参加いただき、ポッチャを通して自然なコミュニケーションと笑顔があふれ、互いの理解とふれあいが深まりました。

また、「ガイドヘルプ体験」では、ガイドヘルプだけでなく、視力障がい者にもわかりやすいように牛乳パックやお酒の缶などに施された身近な工夫についても知る機会になりました。

登別朗読ボランティアの会もブースを出展し、絵本の読み聞かせや早口言葉を通じて、「声を使って人の役に立つ喜び」を参加者に伝えました。参加した子どもたちには笑顔が見られ、「声の持つ力」を改めて実感する機会となりました。

そのほか、市内障がい福祉施設の販売や登別消費者協会と登別更生保護女性会・子ども食堂おにっ子による手作りの軽食の提供が行われました。

■ふれあい買物モデル事業

移動が困難な高齢者を対象に、2024年9月から2025年3月まで、登別温泉紅葉谷町内会区域で「ふれあい買物モデル事業」を実施しました。

社会福祉法人ホープ「のぼりべつ東町ふれあいホーム」の協力により、自宅からスーパーへの送迎や買物中の支援を行いました。

特に、ふれあいホームを利用する障がいのある方々が荷物運びや声かけを通じて高齢者と関わり、共に買い物を楽しむ姿が見られました。

こうした社会との関わりを通して、役に立てる喜びや責任感が芽生えるなど、お互いに良い影響を与えています。



■きずなのまちづくり助成事業

きずなのまちづくり助成事業は、登別市社協とともに福祉のまちづくりに取り組む団体が、「きずな計画」の趣旨に賛同し、共同募金の助成を受けて実施する活動を支援するものです。本助成を活用し、障がい児とその家族の交流・相談の場づくりや、肢体不自由児者への理解を深める交流などが行われています。（令和7年度 18事業16団体に助成）

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金運動が
10月からはじまります！



赤い羽根共同募金のしくみ

赤い羽根共同募金は、次の年に登別市内で行う福祉活動や事業を実現するために必要な財源をあらかじめ計画し行う募金です。市民の皆さんにご協力いただく募金は、登別の福祉活動に活用され、一部が全道規模の広域的な福祉活動等に活用されます。690万円を目標額とし、今年も10月から12月までの3か月間、戸別募金をはじめ様々な方法で募金活動が行われます。

赤い羽根共同募金が支援する登別の福祉活動

登別では、きずな計画のもと住民主体で様々な福祉活動が行われています。赤い羽根共同募金は、これらの欠かすことができない大事な福祉活動を支援しています。

- ・登別の福祉活動を考える「きずな推進委員会」の活動に
 - ・子どもたちの笑顔があふれる「ふれあい・子育てサロン」に
 - ・障がいのある方々と共に学ぶ「出前福祉講座」に
 - ・障がいの理解を深める啓発活動に
 - ・町内会の防災訓練を通じた支え合い活動に
 - ・いじめ反対の意思表示を行う「ピンクシャツ大作戦」に
 - ・就学援助世帯の児童・生徒の修学旅行のお小遣いの助成に…
- 来年もこれらの活動が継続して行われるよう、皆さんのご協力をお願いいたします。

北海道共同募金功績者感謝状伝達式

北海道共同募金功績者感謝状の伝達式を行いました。

令和6年度に共同募金運動にご尽力いただいた3団体へ北海道共同募金会より感謝状と記念品の贈呈がありました。

【令和6年度功績者】

- ・社会福祉法人登別さいわい福祉会
- ・就労継続支援施設 月とらいおん
- ・登別市老人クラブ連合会
- ・一般財団法人 自然公園財団登別支部



登別市限定寄付金付き「当地バッジ・シール集完成！」

赤い羽根共同募金限定のご当地バッジが今年も登場！
登別市のPRキャラクター登夢くんと「歓迎鬼像」とのコラボバッジです。

今年も「日本工学院北海道専門学校」の学生さんがデザインしました。また、コンテスト受賞作品を集めたシール集も完成。そして今年も、「地獄の谷の鬼花火」が20周年を迎えたことを記念し、登別国際観光コンベンション協会とのコラボバッジも作成しました！毎年大好評の寄付金付きバッジとシールは数量限定ですので、お早めにお求めください。

今年のバッジ・シール



最優秀賞
小坂陸哉さん
登夢くんと歓迎鬼像
1個500円以上の募金で進呈



登別国際観光
コンベンション協会
地獄の谷の鬼花火
20周年記念コラボ



受賞作品シール集
1枚200円
以上の募金で
進呈



共募会長賞
西川大青さん



優秀賞
井上穂波さん
秋田佳閑子さん
社協会長賞



アイディア賞
藤巻夢叶さん



取扱い場所

- ・登別中央ショッピングセンターアーニス（中央町）
 - ・登別パークサービスセンター売店（登別温泉町）
 - ・のぼりべつクマ牧場（登別温泉町）
 - ・登別市観光交流センターヌプル（登別港町）
 - ・登別市社会福祉協議会（片倉町）
- ※施設により営業日、取扱時間が異なるのでご注意ください。
※お届けに伺うことも可能です。気軽にお問合せください。

きずな推進委員が

改選されました

きずな活動は、登別市の地域福祉実践計画「きずな」に基づき、地域の皆さんとともに「安心して暮らせるまちづくり」を目指す福祉の取り組みです。

この活動を推進するため、「きずな推進委員会」では、地域のつながりを大切にしなが、さまざまな取り組みを行っています。

2年を1期としており、7月1日に改選となりました。

7月3日には、第1回きずな推進委員会を開催し、「きずな計画」の概要や、今年度の重点項目について共有し、委員同士で活動の目的や方向性を確認し合い、今後の取り組みに向けて気持ちを一つにする機会となりました。

なお、各校区のリーダー・サブリーダーおよび校区きずな推進委員については、登別市社会福祉協議会ホームページに掲載していますので、ぜひご確認ください。



第1回サロンサポーター連絡会を

開催しました

ふれあい・いきいきサロンは、地域住民同士が気軽に集まり、生きがいづくりや仲間づくり、介護予防などを行う地域の居場所です。高齢者を中心に、誰でも自由に参加することができます。

各サロンでは、サロン活動を通して高齢者をさりげなく支えるサロンサポーターが生きがいづくりや仲間づくりをお手伝いしています。

今年度は7月22日に、「地域や個人とつながり続けるサロンを目指して」をテーマに実施しました。講師には北海道教育大学函館校 国際地域学科教授の齋藤征人氏をお迎えし、他市町村の取り組みを踏まえ「住民同士が支え合う文化を育むこと」「『できる』や『したい』を活かす」視点を伝えていただき、参加者の皆さんで「私たちにできること」について話し合いました。

参加された皆さんは、齋藤先生の講義に興味深く聞いていました。

また、普段はなかなかできないサロン同士の横の繋がりを楽しめながら、自分たちのサロンをより良くしようと真剣に話し合われる様子が見られました。



寄付者のご紹介 (2025年4月1日～2025年7月31日)

(敬称略／単位:円)

受領年月日	寄付者名	寄付金額	寄付の目的
2025.04.17	佐藤 政勝	50,000	社会福祉のために
2025.04.17	わしこうD愛好会	10,000	第40回わしこうダンスパーティーの益金の一部を社会福祉のために
2025.05.14	匿名	20,000	社会福祉のために
2025.06.26	匿名	3,060	会議での費用弁償を社会福祉のために
2025.07.07	匿名	5,000	社会福祉のために
2025.07.17	登別中央飲食店組合	50,000	「チャリティゴルフ大会」での益金を社会福祉のために
2025.07.18	四地区合同ビールパーティー実行委員会	187,410	第35回四地区合同ビールパーティー益金
2025.07.22	齊藤 ミエ	3,365	社会福祉のために
2025.07.24	石坂光汰朗	3,448	社会福祉のために
2025.07.28	幌別地区ビールパーティー実行委員会	280,496	第37回幌別地区ビールパーティー益金

愛の小箱等設置協力者のご紹介 (2025年4月1日～2025年7月31日)

(敬称略／単位:円)

設置協力者名	期間内寄付金額	累計寄付金額	種別
匿名	1,207	126,735	愛の小箱
パーラーロイヤル登別店	8,512	19,160	愛の小箱
登別グランドホテル	17,917	223,698	愛の小箱
北海道競馬登別室蘭場外発売所 Aiba 登別室蘭	11,862	187,314	愛の小箱
のぼりべつクマ牧場	15,369	103,191	愛の小箱
登別ゲートウェイセンター	5,236	14,607	愛の小箱
のぼりべつ夏祭り×ブランドまるしえ実行委員会	4,289	19,464	愛の小箱
登別中央ショッピングセンター アーニス	8,400	402,398	愛の小箱・ピンバッジガチャ
ふれあいの店	13,077	730,243	愛の小箱・ピンバッジガチャ

寄付物品のご紹介 (2025年4月1日～2025年7月31日)

(敬称略)

受領年月日	寄付者名	寄付物品名
2025.04.22	イオン北海道(株)マックスバリュ登別店	黄色いレシートキャンペーンイオン専用ギフトカード

上記期間にお届けいただいた団体等のみ掲載しています。